

鹿児島県指宿市

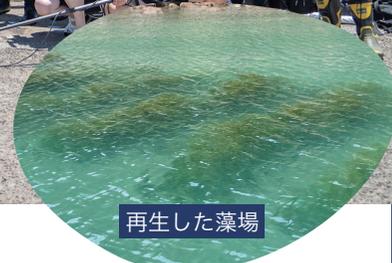
山川の海のゆりかご

ブルーカーボンプロジェクト

[プロジェクト概要] -ABOUT-

○山川町漁業協同組合や地元企業6社で構成する「指宿市山川地区ブルーカーボンプロジェクト協議会（愛称：山川の海のゆりかごを守る会）」が取り組むプロジェクト。活動に必要な助言・協力を得るため、九州電力（株）、農林中央金庫、鹿児島県、指宿市、有識者からなるアドバイザーを設置し、効果的な活動体制を構築

○指宿市山川町は海草であるアマモ場の国内分布の南限地として知られているが、近年、環境変化や魚の食害による海の砂漠化、いわゆる「磯焼け」が進行し、アマモが消失した状態にある。この消失したアマモを再生するため、平成19年から藻場再生活動を開始、令和5年からは上記協議会を立ち上げ、活動を本格化



再生した藻場

私たちの課題



磯焼け



ガンガゼウニ



イスズミ

[PR ポイント] -PR POINT-

令和5年に植食性魚類の食害対策を考慮した「仕切り網」を設置し、保全場所を作り、その中にアマモの活着や作業性・経済性に優れた「アマモマット」を造成、全国でも例の少ない新技術の大規模な実践により、南限アマモ場の再生に成功。

これまでの活動成果が認められ、生物多様性の保全を目指す国際目標「30by30」の達成に向けて、令和6年3月環境大臣より「自然共生サイト」に認定。漁協としては全国初の認定。サイト名「山川の海のゆりかご」として登録。

今後は、クレジットの収益を活用しながら、アマモ場のさらなる拡大を目指し、ブルーカーボンによる脱炭素社会と多様な生物生態系の維持に貢献します。

[組織図] -Relationship-

